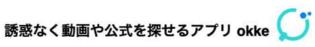
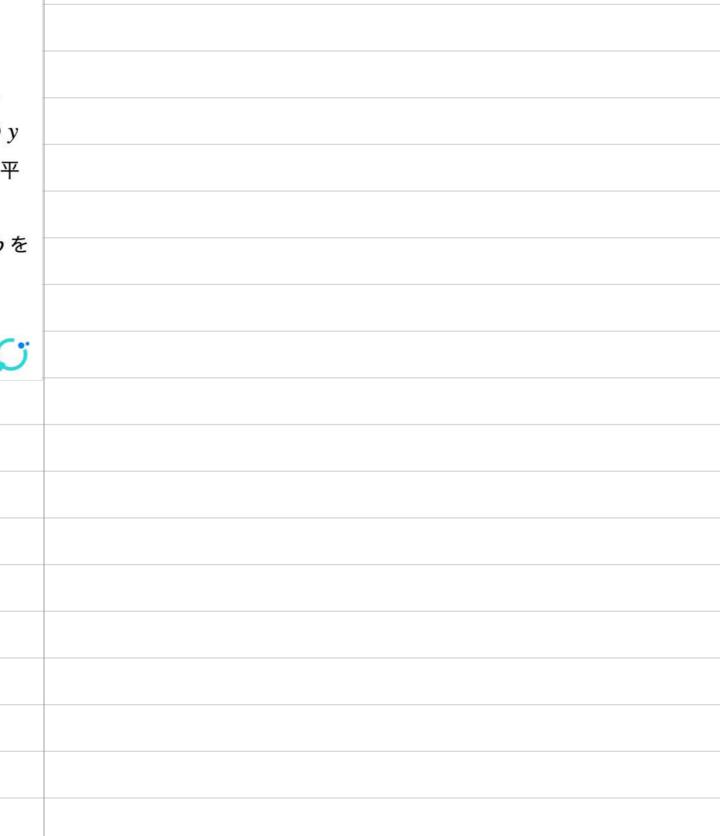
## 東北大学 2022 文系第3問

- a, b を正の実数とし、xy 平面上の直線 l: ax + by 2 = 0 を考える。
- (1) 直線 l と原点の距離が 2 以上であり、直線 l と直線 x=1 の交点の y 座標が 2 以上であるような点 (a,b) のとりうる範囲 D を求め、ab 平面上に図示せよ。
- (2) 点 (a, b) が (1) で求めた範囲 D を動くとする。このとき、3a + 2b を最大にする a, b の値と、3a + 2b の最大値を求めよ。





## (1) んがいるいる動くし、条件を式にしてコ")コ") 処理できるか。

$$\begin{aligned}
L: \alpha X + \ell Y - 2 &= 0 \\
\ell X(0,0) &= 1 + \ell Y - 2 + \ell Y + \ell Y + \ell Y - 2 + \ell Y + \ell$$

$$\iff \quad \underline{\alpha^2 + \alpha^2} \leq \underline{\qquad} \qquad \cdots \quad \underline{\qquad}$$

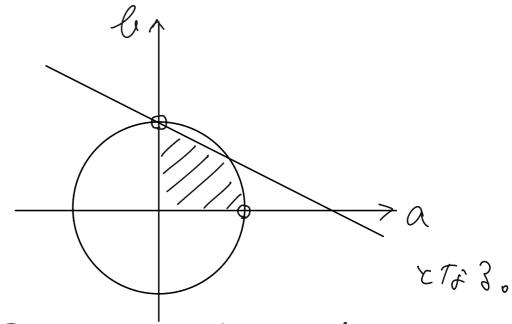
また、
$$\chi = 1$$
の 友意は、  
 $\chi = 1$ の 友意は、  
 $\chi = 0$   
 $\chi = 0$ 

$$\frac{-\alpha+2}{\alpha} \ge 2$$

$$-\alpha+2 \ge 2\alpha \quad (\alpha > 0 \ne 1)$$

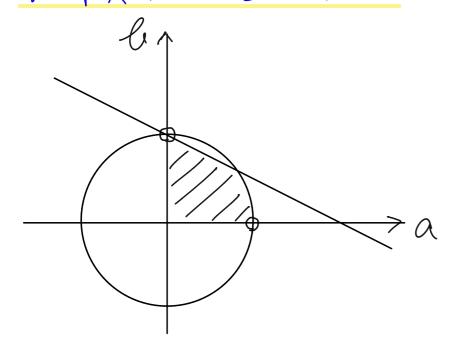
$$\alpha+2\alpha \le 2 \quad \cdots \ge 2$$

a.d70のもとDQを国示すると、Dは



境界はの軸、日軸上は含まず、他は全て含む。

(2) いかゆる サー・線形計画法の問題 → 段間演習 1A2B 63/100

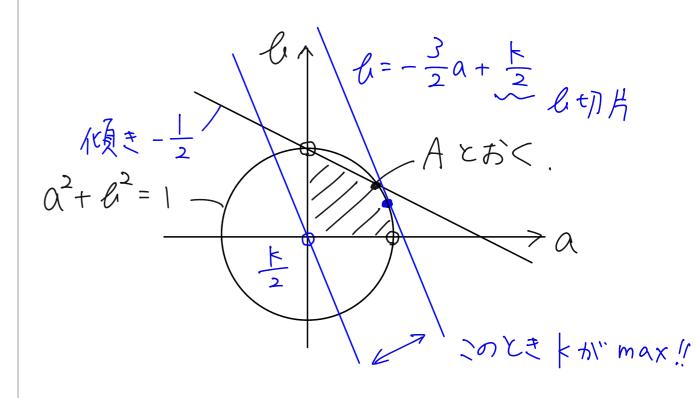


3a+20=k2500

- → 3a+もがトという値をとるというのは、 3a+も=トを満たすD上の点(a,d) が存在するということ、
- → (a.ん)の存在条件を考えることで トのとりうる範囲がわかる(逆像法)

ラスで考えるよりも<u>図形的に共有点が</u> あるかで考えるのがラク(線形計画法) への首領とひが、生命よったはつ

この直線とひが、共有点を持つ上の最大値を考える。



どこまで上に行けるかの検討!

直線 α+20=2 と円 α²+ (²=)の交点, Α を 求める。

 $\frac{(2-2l)^{2}+l^{2}=1}{5l^{2}-8l+3=0} \rightarrow l=|m| m \pi \tau$  $\frac{(l-1)(5l-3)=0}{l=\frac{3}{5},1}$   $\frac{(l-1)^{2}+l^{2}=1}{l=\frac{3}{5},1}$ 

よ)、Aの座標は( $\frac{4}{5}$ ,  $\frac{3}{5}$ ) となる。 この点での円の接線の傾きは $-\frac{4}{3}$ であるから、 あ)、 $-\frac{4}{3}$  >  $-\frac{3}{5}$  であるから、

図形的に! (項き 4 ) (項き - 4 ) 掛けて一

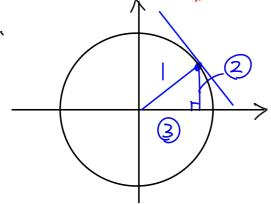
直線30+20=トと円の2+か2=1と 接するときトは最大となる。→ご発行を

 $\frac{1}{\sqrt{3^2+2^2}} = 1$ 

このうち、0、70, 670の範囲で搭するのは ト= 13である。 よって 30+26の最大値は 1/3 である。

このときの(a, む)は、

$$\frac{\left(\frac{3}{\sqrt{13}}, \frac{2}{\sqrt{13}}\right)}{7"5}$$



☆災理の工夫!

直線と円を連立して式で、おめるより

図形で考えるのが速い!

